

2026.06.30 2歳、3歳「全身であそぶ、絵の具の時間」絵の具、自然物、模造紙など

今回は、床や壁に大きな模造紙を広げ、絵の具を使った造形遊びを行いました。

筆だけでなく、どんぐりや松ぼっくり、葉っぱ、卵パック、トイレトペーパーの芯なども用意し、子どもたちが好きな場所や道具を選びながら、絵の具と関われるようにしました。

活動が始まる前から、子どもたちは自然物や筆、容器に興味を持ち、どんぐりを卵パックの凹みに入れたり、筆の感触を確かめたりしていました。

制作が始まると、好きな色を選び、紙に塗る、どんぐりを転がす、色を混ぜる、手のひらで絵の具を叩くなど、それぞれのペースで遊びが広がっていきました。

絵の具は、紙の上だけでなく、手のひら、腕、足、机、壁へと少しずつ広がっていきました。

子どもたちは、色が混ざること、絵の具が垂れること、手で叩くと音がすること、容器がいっぱいになることなど、目の前で起きる変化に出会っていました。

活動後の振り返りでは、子どもたちが「やってみたい」と思える環境をどうつくるか、また、その動きを大人がどのように見守り、受け止めていくかについて話し合いました。

今回のような大きな活動だけでなく、日々の生活の中にも、子どもが自分で試し、確かめられる小さな場をつくっていくことの大切さを感じる時間となりました。

